

〔様式 1〕 協働による社会課題解決の取組の内容

| | |
|---------------------|---|
| 取組の名称 | 岡山県子ども観光大使 |
| 28 年度募集テーマ | <input checked="" type="checkbox"/> 『笑顔』 <input checked="" type="checkbox"/> 『場づくり』 ※該当テーマに <input checked="" type="checkbox"/> してください。 |
| テーマとの関連 | <p>◎テーマをどのように受け止め、貴団体の取組と合致すると考えたのかをお書きください。</p> <p>子ども観光大使は、郷土の魅力を学ぶ「場づくり」を行っている点で合致します。岡山市では、「岡山城」「後樂園」「吉備津彦神社（桃太郎伝説）」「池田動物園」「ANA クラウンホテルでのシェフによるパフェ作り」「西大寺観音院ではだか祭りの学習」を学習しました。現地で、専門家に協力いただき、見学、体験活動をしたりして、五感をフル活用して学びます。静岡で始まったこの取り組みは、TOSS という教員の団体（全都道府県の約 1 万名の教員が参加）が実行委員会の中心となり、43 都道府県で実施されています。（2016 年 12 月現在）また、学んだ魅力を発信する「場づくり」も行っています。写真俳句、動画などでイベント当日や HP、全国大会等で発信しています。写真俳句は、作家の森村誠一氏が提唱した表現方法です。地域の魅力の写真を基に俳句を考えます。そして、文章で地域の魅力を説明します。2015 年度は、写真俳句コンクールを行い 468 作品が集まり、12 の賞を選びました。また、全国大会が今年の 7 月岡山大学で開催され、全国 27 県から 102 名の子ども観光大使と保護者・関係者合わせて総勢 414 名が集いました。自県の魅力を発信しました。こうした場づくりは、2019 年のラグビーワールドカップ、2020 年東京オリンピックに向けた取組でもあります。将来は、日本のよさを訪れる外国人に発信できる子どもを育てることを期待しています。</p> <p>子ども観光大使は、認定されるためのテスト（検定）を毎回の会場で行っています。3 問のテストで 100 点がとれたら認定です。100 点取ったときは、ガッツポーズをして喜ぶ子もいます。選択肢をつけて、低学年でも答えやすいようにしています。全員合格で全員に成功体験を保証するのが私達の団体の理念の一つだからです。参加した子どもの約 95%が「楽しかった」とアンケートで答えています。活動は、子どもたちの「笑顔」でいっぱいです。同伴した保護者、地域の協力者、スタッフも活躍する子どもたちの姿を見て自然と「笑顔」になります。子ども観光大使は、関わるすべての方を「笑顔」にする取り組みだと考えます。</p> |
| 目的・解決をはかりたい課題の状況・目標 | <p>◎取組の目的、解決をはかりたい社会課題の状況把握・ニーズ把握、解決後の姿（目標としている状況）などについて記載してください。</p> <p>近年、自分の住んでいる地域の良さやすばらしさを知らずに大人になってしまいう子、別の地域へ移り住む子が増えています。地域の大人が働きかけなければ、子どもが地域を誇りに思うこともないかもしれません。みんなで「まちづくり」をしていくという意識も受け継がれていきません。そこで、地域の良さを知り、体験することを通して、自分達の住んでいる地域を好きになり、誇りに思う子どもを育成したいと考えます。そして、その子ども達が、この活動で知った地域の良さを発信し、まちづくりに携わっていくようにしていきたいです。</p> <p>観光立国の基本理念である「住んでよし、訪れてよしの国づくり」の実現のため、観光に対する興味や理解を教育の早い段階から促し、地域の魅力を発信できる担い手が必要であるとの認識に立ち「岡山県子ども観光大使」の認定事業を実施しています。</p> |

| | |
|------------------------|--|
| <p>取組の内容</p> | <p>1 取組の対象：対象地域、対象者、対象人数等 対象地域は、岡山県全域です。現在の活動の中心は、岡山市です。対象者は、県内の小学生と幼児です。誰でもどこの会場にも参加することができます。対象人数は、各会場の事情によって異なります。10～30名程度を定員としています。</p> <p>2 取組の担い手：取組への参加団体、参加人数等 岡山県子ども観光大使実行委員会：子ども達がふるさと岡山に誇りをもってほしいという声に賛同した団体・行政が協働で運営し、活動しています。実行委員会は、TOSS 教師を中心に38名のメンバーがいます。</p> <p>3 活動内容、実施方法などを具体的な活動ごとに箇条書きでお書きください。 ①見学 地域で有名な所を見学し、その土地の良さを現地で感じてもらえるようにする。 ②体験 地域で有名な所で物を作ったり、絵を描いたりして地域のよさを発見できる活動をする。 ③発信 地域の良さを様々な人に発信し、地域のよさを広げていけるようにする。発信手段としては俳句や映像、文章などである。 ④検定 当日学んだことを3問の問題に答えることが検定である。 ⑤認定 検定問題で合格すると認定証が授与される。</p> <p>4 取組をWEB等で告知している場合はそのURLをお書きください。 (1) 岡山県子ども観光大使 2015 年度 →http://okayamakodomokankoutaisi.jimdo.com/ (2) 倉敷市子ども観光大使 2015 年度 →http://kodomokannkoutaisi-okayama.jimdo.com/ (3) 岡山県子ども観光大使 2016 年度 →http://okayamaken-oyama-sinrin-kodomo.jimdo.com/ (4) 第2回 全国連合子ども観光大使大会 in 晴れの国おかやま →http://tossmak.main.jp/kanko-okayama/ (5) 子ども観光大使 JAPAN →http://kids-s-arbs.jimdo.com/</p> |
| <p>協働の体制</p> | <p>◎協働する各団体の役割分担や、団体間の目的の共有の仕方、対等な協働関係を築いていくための工夫など、具体的に記載してください。</p> <p>岡山県子ども観光大使実行委員会の実働は、TOSS 教師が中心です。イベント実現に向けて、岡山市教員を中心に様々な市町村の教師と企画を練ります。その後、各団体と交渉します。必ず打ち合わせを現地で行います。TOSS の理念や子ども観光大使の活動の経緯等を、資料を基にお話します。相手の団体の理念や実績は事前に下調べして話し合いが円滑に進むようにします。こうして団体間の目的の共有をします。その後は、当日に向けて密に連絡を取っていきます。告知や申込受付、当日の資料準備等は、TOSS 教師が行います。外部団体の方には、会場を提供していただいたり、現地のガイドや体験活動の講師になっていただいたりしています。子どもたちの将来のための社会貢献活動というビジョンが共有できれば、対等な協働関係を築いていくことができると考えます。各会場によって、協働する団体が異なります。これまでに岡山県では45会場の子どもの観光大使を実施してきました。50団体を超す団体と協働して運営しています。</p> |
| <p>取組の工夫 取組の特徴</p> | <p>◎地域資源や人的資源の活用など工夫した点を記載してください。</p> <p>子どもが地域の魅力を発見できるよう、地域資源を「現地」で見たり、体験したりする活動をしてきました。本やテレビで見る疑似体験ではなく、現地でのリアルな体験です。人的資源の活用は、地域資源に詳しい専門家の方を講師としてお招きし魅力をより理解できるようにお話や活動をしていただいたりしました。また、保護者同伴としたことで低学年の子も親のサポートを受け活動にスムーズに取り組めたり、学習の理解を深めたりすることができていました。</p> <p>◎取組の特徴やアピールポイントを記載してください。 ①子ども達に「郷土愛」を育てる取組です。 ②「現地」での「見学」「体験」を基に、地域の魅力を発見する取組です。 ③保護者同伴が原則で、子どもとじっくり関わることができ、親子で楽しみ絆を深められる取組です。 ④岡山県全県下で開催しています。1会場参加だと参加した市町村の子ども観光大使に、2会場参加すると、岡山県子ども観光大使に認定されます。 ⑤学校の教員発の子ども・保護者・地域の方々を巻き込んだ社会貢献活動です。社会貢献活動なので参加費は、原則 保険料と材料費（必要な場合）のみです。 ⑥様々な方々と協働し、全国42都道府県で行われている取組です。</p> |

| | |
|-------------------------|---|
| | <p>⑦2016年には、岡山市で全国大会が開催されました。県下の全首長からの応援メッセージをはじめ、後援を観光庁、日本郵便株式会社、岡山県全自治体・全教育委員会・観光協会等、100団体近くいただきました。年1回、全国大会が開催されます。第1回は、栃木（2015年）第2回は岡山（2016年）第3回は静岡（2017年）です。</p> <p>⑧2019年ラグビーワールドカップ、2020年東京オリンピックに向け、日本の魅力を世界へ発信できる子を育てることを目指す取組です。</p> <p>⑨応援団が次々表れ、関わる人が「笑顔」になる取組です。</p> |
| <p>成果・効果</p> | <p>◎取組を通じて得られた成果や、解決した社会課題の状況、また関連した地域への効果や変化などを記載してください。</p> <p>第一に、地域の良さを知ったり体験したりすることで、地域がより好きになったり誇りに思ったりする子どもが育ちました。郷土愛の醸成を図る機会となりました。第二に、親子のふれあいにより絆がより強くなりました。原則、保護者同伴です。一緒に活動を楽しむことでふれあう体験がうまれていました。第三に、地域が活性化させることができました。子ども観光大使のイベントにより、その地域に関係者が訪れ活性化しました。また、子どもが地域の良さを発信することで地域を訪れてもらうきっかけを作ることができました。協働での「場づくり」をした結果、子ども観光大使に関わった方の「笑顔」を引き出すことができています。</p> |
| <p>今後の活動展開 など展望</p> | <p>◎成果の普及や今後の活動展開など展望について記載してください。</p> <p>TOSSという団体で実施報告を逐一行っています。全国各地で「岡山の事例を参考にし、実施しました」という声をいただいています。また、HPやまちづくりセミナー、今回のまちづくり賞などの事業に参画し、子ども観光大使を発信することで、団体を超えて成果の普及を一步一步実現していくことを考えております。今年度は、全12会場で残り2会場となりました。現在、2017年度に向けて準備を進めているところです。2017年度は、予定では10会場岡山県下で行います。また、2017年の全国大会は、静岡県に決まっております。岡山県子ども観光大使も現在4名立候補しています。はじめは、限られた地域の良さを発信する取り組みでした。それが2015年度に市全域、今では全県下に広がっています。地域の良さを岡山県へ、全国へ、2019年・2020年には世界へ発信できる子ども達が育つことを期待しております。</p> |

岡山県子ども観光大使2015年度 岡山県下 24会場で開催 222名認定!

①赤磐市 10/3(土) 10名認定



マスカット狩りを温室に入って親子で体験しました。どの子も初めてのマスカット狩りでした。シャインマスカットの試食もしました。

黄金の ひとつぶで皆 幸せに


②矢掛町 10/10(土) 8名認定



サツマイモ掘り体験をしました。とったイモを使い、ケーキを作り食べました。会場のフルーツピザは自然がいっぱいで美しかったです。

おいもほり トンあるかな 大しゅうかく

③岡山市 10/12(月) 12名認定



ANAクラウンホテル1Fのウルバーノで料理長が作ったパフェを食べました。なぜ岡場でパフェが有名なのか授業で学習しました。

晴れの国 おいしいっぱい みなえがお

④総社市 10/17(土) 8名認定



タンチョウの話を聞き、飼育の様子を観察し、エサやり体験をしました。総社市観光協会の産直広場やサンロード吉備路を見学しました。

タンチョウは ぜつめつつきくしゅ ひつくりだ


⑤高梁市 10/31(土) 8名認定



山田方谷の功績を学びました。山田方谷のカルタ(自作教材)をして楽しんだり、山田方谷の言葉を書いたりして覚えました。

ノーベル賞 とつた人も 至誠惻怛

⑥真庭市 11/15(日) 7名認定



B級グルメのひるぜん焼そばをすいとん会の方に習い、調理しました。初めて食べる子もたくさんいて「おいしい」と大好評でした。

あつあつ ひるぜん焼そば めしあがれ

⑦岡山市 11/21(土) 15名認定



岡山城で見学をしたり、歴史の話を聞いたりしました。備前焼体験も行いました。岡山の歴史と文化を学ぶことができました。

晴れの国 黒くかがやく 鳥城かな

⑧美咲町 11/21(土) 5名認定



食堂かめつちで卵かけご飯を食べました。何杯もおかわりする子もいました。その後、卵が生産されている美咲ファームの見学をしました。

おいしいな たまごごはんは 美咲町


⑨美作市 11/23(月) 3名認定



武蔵生誕の地、美作市で資料館見学やゆかりの地を巡るウォークラリーを行いました。宮本武蔵の秘密がたくさん分かりました。

わたしはね むさしとおなじ ひだりきき

⑩笠岡市 12/13(日) 8名認定



日本で唯一のカプトガニ博物館で、カプトガニの生態と保護について博物館長から話を聞きました。そして、博物館の見学をしました。

カプトガニ すみやすいまち ままろうよ

⑪里庄町 12/13(日) 6名認定



日本の原子物理学の父「仁科芳雄博士」の功績を仁科会館で学びました。館内の探検、科学実験をしました。里庄町長も参加されました。

物理学 目指せ仁科の ひまご弟子


⑫早島町 12/19(土) 4名認定



早島のゲストハウスいぐさの方からい草のことを学びました。い草の草分けをしたり、い草を使ってコースターを作ったりしました。

かおりい いぐさで作る コースター

⑬浅口市 12/28(月) 19名認定



麵蔵人でも川手延べ素麺の方に手延べ麺の歴史を聞きました。手延べ麺を作ったり、食べたりしました。浅口市長も参加されました。

はれの国 さいごまできをぬかない 細いめん

⑭倉敷市 1/23(土) 4名認定



将棋の名人大山康晴の功績について、大山名人記念館で館長から学びました。記念館を見学しました。将棋の対局をして交流をしました。

あきらめない 強い気持ちを 学んだよ

⑮岡山市 1/30(土) 10名認定



日本三名園の「後樂園」で、授業やフィールドワークをして学びました。学んだ後樂園の魅力を、ご当地フォルムカードで発信しました。

後樂園 どこから見ても 美しい


⑯玉野市 2/7(日) 9名認定



B級グルメの温玉めしを調理し、食べました。玉野温玉めしの会の方が作り方を習いました。玉野市長も参加されました。

たまのしの グルメはぜつたい おんたまめし

⑰備前市 2/7(日) 6名認定



千年の歴史をもつ備前焼について、話を聞いたり、作ったりしました。また、日本文化遺産の閑谷学校をガイドの方に案内してもらいました。

びぜんやき 自分の手作り 世界一


⑱瀬戸内市 2/20(土) 10名認定



備前長船刀剣博物館で刀鍛冶職人から刀剣について学びました。本物の刀剣を間近で見ました。瀬戸内市長も参加されました。

カッコいい かななをつつた よしひささん


⑲津山市 2/27(土) 20名認定



津山の偉人 宇田川家の業績を学びました。洋学資料館を見学したり、科学実験をしたりしました。当日の参加者は約50名と大好評でした。

人間の 大事な部分の 名付け親


⑳岡山市 2/28(日) 14名認定



池田動物園でガイドに案内してもらいました。普段できないフラメンゴを触る体験をしました。49年間動物園にいたゾウとのお別れもしました。

フラメンゴ けんけんあしが とくだいな

㉑岡山市 3/5(土) 10名認定



吉備津彦神社をボランティアガイドの方に案内してもらいました。最新のICT教材(音声ペンGペン)を使って、桃太郎伝説を学びました。

きびつひこ うらといっしょに かみさまに


㉒新見市 3/13(日) 7名認定



新見市の山田方谷記念館で、山田方谷を学びました。方谷の言葉を覚えたり、方谷の歌を歌ったり、カルタで楽しく学んだりしました。

ほうこくさん えきまでゆうめい すいごぞう


㉓岡山市 3/19(土) 6名認定



西大寺観音院で「はだか祭り」を学びました。福男の方が来てくださり、祭りで宝木を取ったときの様子を話してくださいました。

さむい日に ゆうかなおとこ 宝木取り

㉔総社市 3/26(土) 13名認定



宝福寺で雪舟について学び、座禅体験をしました。副住職の修行経験を聞くこともできました。筆と俳句で雪舟の魅力を発信しました。

せつしゅうさん せかいがしてる なまえとえ

※口の中の俳句は、子どもが地域の魅力をテーマにした作品です。イロト当日は、俳句と写真それぞれを文章で説明する写真俳句を作りました。作家の森村誠氏が考えた表現方法です。三月二六日は水墨画で俳句を書きました。

全国大会への応援メッセージ

TOSSの先生方といつも一緒に教育をよくしていこう、日本をよくしていこう、ということで努力をしております。全国の子ども観光大使の皆さん、我が岡山においていただけるのですね。本当に楽しみです。

それぞれの土地のよさを大いにアピールしていただきたいと思います。日本の未来、そしてそれぞれの皆さんの地域、愛するまちの未来は、皆さんの双肩にかかっていると思います。期待していますよ。みんなで力を合わせて頑張りましょう。

全国連合子ども観光大使大会 名誉会長 衆議院議員 あいさわ 一郎
日本・アフリカ連合(AU)友好議員連盟会長



第二回全国連合子ども観光大使大会の開催おめでとうございます。

観光を始めとする国際交流の究極的な目標は、国際的な相互理解の深化です。相互理解の出発点は、己を知ることです。しかし、外国人と初めて深く交流し、自分のことを語る機会を持った若者のほとんどが、日本の歴史、文化に関する知識が余りに乏しいことに気づかされ、啞然としているのが日本の現実です。その中で、子ども観光大使の皆さんが、先ず、地域の歴史、文化などの勉強から活動を開始されていることは、誠に頼もしいことです。今は、子ども大使ですが、更に勉強と修練を重ねて、真の民間大使に成長し、観光大国を目指す日本の礎となられることを期待しております。大会のご成功を祈念し、子ども観光大使を支えて素晴らしい活動をされている教師・関係者の皆様、大会事務局の皆様には心からの敬意を表してご挨拶とさせていただきます。



全国連合子ども観光大使大会 会長 本保 芳明
初代観光庁長官 首都大学東京 特任教授

ようこそ岡山へ。全国大会の開催おめでとうございます。子ども観光大使の皆さんが、この活動により、地域の良さを学び、全国にふるさとの魅力を発信されることを期待しています。

岡山県知事 伊原木 隆太



子ども観光大使の皆さん、歴史・伝統・文化の香りに満ちた「桃太郎のまち」岡山市へようこそ!ここ岡山から、ふるさとの魅力を全国に向けて発信しましょう。

全国連合子ども観光大使大会 副会長 岡山市長 大森 雅夫



本大会のテーマは「郷土を輝かせる偉人」と同い、思い浮かんだのが岡山県の山田方谷です。私は彼の哲学に学び、様々な困難を乗り越えてきました。皆様も全国各地の偉人に学び、魅力を大いに発信してください。彼らの魅力こそ、皆様の将来の指針となり明るい日本を創る礎となるでしょう。子ども観光大使がさらに広がることを願います。

全国連合子ども観光大使大会 名誉顧問 大橋 洋治
ANAホールディングス相談役・前ANAホールディングス代表取締役会長



全国連合子ども観光大使大会IN晴れの国おかやまの開催、おめでとうございます。TOSSの皆様の素晴らしい取り組みです。この動きが、2019年に向けて、子どもラグビー交流大使に繋がっていくことを楽しみにしています。

全国連合子ども観光大使大会 副会長 西阪 昇
初代観光庁審議官・ラグビーワールドカップ2019組織委員会事務総長代理



全国大会への 岡山県の全市町村長 からの応援メッセージ

井原市は、ぶどうやごぼうなどの果物・野菜栽培とデニムの生産が盛んな、美しい自然に囲まれた暮らしやすいまちです。子ども観光大使の皆さん、ふるさとの魅力をたくさんアピールし、全国に発信してください。応援しています。



**井原市長
瀧本 豊文**



**久米南町長
河島 建一**

新庄村は岡山県を代表する「ひめのもち」や「がいせん桜」、「毛無山」など魅力的な観光資源を多く有しています。子ども観光大使のみなさん、ふるさとに誇りと愛着を持って全国にふるさとの魅力を大いにPRして下さい。



**新庄村長
小倉 博俊**

玉野市は、子ども観光大使全国大会を応援しています。瀬戸内国際芸術祭やSea級グルメ全国大会の開催で盛り上がる本市にもぜひお立ち寄りください。



**玉野市長
黒田 普**

子どもは地域の宝。地域の良さを身体にも心にも一杯に受けて、広い世界で活躍してください。百年の森林づくり西粟倉村は、そんな子ども観光大使を応援しています。



**西粟倉村長
青木 秀樹**

子どもは町の大切な卵たち。その卵を優しく愛情をもって育てることが私たちの役目です。美咲町は、全国の子ども観光大使の皆様の御活躍を応援しています。



**美咲町長
定本 一友**

美しい水資源に抱かれた森林や農産物、温泉を始めとした健康素材が体験できるまち「鏡野町」は、子ども観光大使全国大会を応援しています。



**鏡野町長
山崎 親男**

倉敷市は、江戸時代の街なみを残す美観地区をはじめ、魅力にあふれたまちです。みなさん、元気いっぱいいたのしんで発表してくださいね。



**倉敷市長
伊東 香織**

瀬戸内市は、日本刀の聖地長船など、自然や歴史・文化が豊かに残るまちです。全国の子ども観光大使の皆さんの活動を応援しています。



**瀬戸内市長
武久 顕也**

「歴史と文化の薫る城下町」津山市は、全国連合子ども観光大使IN晴れの国おかやまを応援しています。大使の皆さんは、自分たちのまちの魅力を大いに発信してください。



**津山市長
宮地 昭範**

早島町は町制施行120周年を迎え、児島湾干拓と金毘羅往來の歴史と文化が豊かなまちです。子ども観光大使の皆さんの発見と発信を期待します。



**早島町長
中川真寿男**

温泉とスポーツのまち美作市は、子ども観光大使を応援しています。皆さんのふるさとの魅力を存分に発信してください。



**美作市長
萩原 誠司**

赤磐市は、桃やぶどうなど果物の栽培が盛んな、香り豊かなまちです。子ども観光大使の皆さん、ふるさとの好きなところをたくさん発信してください。応援しています!!



**赤磐市長
友實 武則**

笠岡市は、「瀬戸内ど真ん中」の有人島がある海と山に囲まれた自然豊かな都市です。子ども観光大使の皆さんの活躍を応援しています。



**笠岡市長
小林 嘉文**

里庄町は、世界的に有名な科学者「仁科芳雄博士」のふるさとして。子ども観光大使の皆さんも、色々なことに興味を持って、自分たちの「まちのよさ」を元気いっぱい、多くの人に伝えてください。



**里庄町長
大内 恒章**

総社市は「総社を愛す子ども」「心優しい子ども」「礼儀正しい子ども」を育てるまちです。子ども観光大使の皆さん、地域の素晴らしさを自ら学び、誇りを持って大好きなふるさとの魅力を全国に発信してください。



**総社市長
片岡 聡一**

那岐山の麓に広がる奈義町は、全国和牛共進会で第2位に輝いたブランド牛「奈義ビーフ」や樹齢900年の菩提寺の大イチョウ、自然の中に溶け込んだ奈義町現代美術館など魅力的な観光資源がたくさんあります。子ども観光大使のみなさん、地域の様々な魅力を思い切りPRしてください。応援しています。



**奈義町長
笠木 義孝**

備前市は一千年の歴史を持つ備前焼と日本遺産に認定された旧閑谷学校のあるまちです。子ども観光大使の皆さん、由緒あるふるさとを全国にPRしてください。



**備前市長
占村 武司**

矢掛町は、美しい自然に恵まれた歴史と文化あふれる、魅力いっぱいのまちです。子ども観光大使の皆様も、自分の住んでいる地域の良さを本大会で、元気いっぱいお互いに伝えあい、発信してください。



**矢掛町長
山野 通彦**

日本一晴れのまち浅口市には宇宙一の天文台があります。子ども観光大使の皆さんが愛するふるさとの魅力をたくさん発信し、ご活躍されることを期待しています。



**浅口市長
栗山 康彦**

吉備中央町は、自然あふれる岡山県のだ真ん中の町です。子ども観光大使の皆さん、それぞれのふるさとの魅力を大いに発信してください。



**吉備中央町
山本 雅則**

勝央町は『自然』と『文化』がバランス良く調和し、金時ゆかりの地としても知られる町です。子ども観光大使の皆さんを応援しています。



**勝央町長
水嶋 淳治**

高梁市には備中松山城など全国に誇れるものがたくさんあります。皆さんも自分の住むまちのよさを全国に発信し、友情を深め、心に残る大会にしてください。



**高梁市長
近藤 隆則**

新見市は、千屋牛やピオーネなどの美味しいものが多い、自然豊かなまちです。子ども観光大使の皆さん、ふるさとの魅力を大いに発信してください。



**新見市長
石垣 正夫**

真庭市は豊かな自然に囲まれ、蒜山高原や湯原温泉などの楽しい観光地があります。ふるさと岡山の多彩な魅力をたくさん味わい、どんどん全国に発信してください!!



**真庭市長
太田 昇**

「教育のまち」和気町は、子ども観光大使全国大会を応援します。未来にはばたく子どもたちを晴れの国おかやまで育みましょう。



**和気町長
大森 直徳**



TOSS (Teacher's Organization of Skill Sharing の略)とは?

向山洋一を代表とする参加教師数約1万人を誇る日本最大の民間教育研究団体です。教育における「技術」に注目し、すぐれた教育技術を教師の共有財産化することを目標とした「教育技術の法則化運動」を前身としております。TOSSの活動には安倍首相・下村前文部科学大臣から何年もメッセージをいただいております。「子どもにとって価値ある教師」になるべく、それぞれのもつ教育技術、指導のスキルを学び合い、情報を交換し、日々の教育活動に活かしていく自主的な運動、それがTOSSの活動です。



TOSS代表
向山洋一氏



安倍首相、総文科
大臣からの祝電

TOSS岡山 サークルMAKの紹介

TOSSの活動を岡山県内で行うサークルです。NPOも立ち上げており、NPO法人岡山教師力向上支援サークルといえます。



MAK代表
甲本卓司氏

TOSS岡山サークルMAK (NPO法人岡山教師力向上支援サークル) 主な活動 & 社会貢献活動

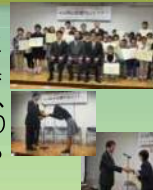
①教え方セミナー

新しく会う子ども達のために3月～5月に行っているセミナーです。
『黄金の3日間』『特別支援教育』等について価値ある指導技術を紹介しました。13年目を迎えました。



②親守詩セミナー

親子の絆を深める「親守詩」が全国各地に広がっています。岡山県でも第3回目が開催され、約200名近い参加がありました。毎回、感動するドラマが生まれます。



③郵便教育セミナー

郵便局と連携して、手書きで書く手紙文化を学校教育でできないか話し合います。岡山県の学力テストで「宛名の書き方」が話題され注目を浴びています。



④例会(サークル)活動

例会では模擬授業・授業の実践報告・クラスのことについて質問や悩みを共有しあいます。
毎回、価値ある情報・技術が手に入ります(詳細は裏面に)。



⑤教員採用試験対策

約10年続けている活動です。面接系の対策が中心です。個人・集団面接・集団討論・模擬授業を演習で学べます。毎年、合格者が出ています。



⑥学生支援活動

先輩教師が教員の卵である学生達に現場に出て役に立つ実践的な価値ある情報を伝えています。
何も知らないで現場に出ると出ないのでは大違いのようです。



⑦TOSSランド・メディア

インターネットの誰でもいつでも活用できる無料のポータルサイトです。現場で役に立った指導法が見れます。
また、電子書籍「TOSSメディア」で書籍がPCや携帯で読むことができます。



⑧TOSS保険

管理職の不当なパワハラ・保護者からの無理難題な要求に「法」を下に相談に乗ってくれる保険です。おかげで辞めずに済んだ事例も数多くあります。



①五色百人一首大会

日本の伝統文化にふれるために毎年、後楽園で大会を行っています。今年で13回目を迎えます。全国各地で大会が開かれその輪は全国へ広がっています。



②子どもTOSSデー

絵画指導や百人一首・チャレラン、アクモキャンダル等、子ども達が熱中する取り組みを行っています。
2015年で第13回目を迎えました。



③子ども観光大使

岡山県内の魅力を学び、その良さを発信できる小学生の育成を目指して行っています。2016年7月23・24日には第2回全国連合子ども観光大使大会が岡山で開催されます。



④絵手紙教室

郵便局と連携して手書きで書く事の大切さを絵手紙教室(「暑中見舞い」「年賀状」)を通して、実感させる取り組みを行っています。郵便区分機の仕組みを見ることが出来ます。



⑤認知症予防 脳トレ教室

子どもと高齢者を対象に認知症予防の脳トレ教室を開きました。ダンスや歌、ふれあい囲碁や脳トレができる絵本やテキストを使って講座をしました。



他にも「タグラグビー教室」・「子ども科学体験教室」・「ニャティティソーラン教室」・「コミュニティ脳トレ士Jr」等の社会貢献活動が行われています。

※これらの最新情報は、『TossオフィシャルHP (http://www.toss.or.jp/)』で知ることができます。

子どもが熱中する教材・教具を開発しています。「優れた教材」は教師と子どもを救います。

TOSSを知る雑誌

←教育トータル誌

「教育」をテーマに、授業論から学校経営運営論等幅広く取り扱っています。また、購入者限定の「デジタルトータル誌」も好評です。毎月650円で教師力がUPすること間違いなしです!!

教育コミュニティ誌→

地域と学校をつなぐ社会貢献活動や2020年オリンピック・W杯ラグビーをメインに取り上げる社会貢献活動教育の専門誌です。

特別支援教育誌

テーマを「特別支援教育」に特化した教育雑誌が創刊しました。学校現場で困っている先生方に役立つ、実践的で具体的な情報をお届けします!



TOSSの新書籍!

TOSSの叢智が結集した「授業の新法則」が各教科・各学年で続々と発行されました。各教科の珠玉の指導法が手に入ります。

帰ってきた『教室ツウウェイ』

読者の多くのご要望に応じて「教室ツウウェイNEXT」で2016年3月から発行されます。えうご期待!!!!

| | | | | | |
|-------------------------------|----------------------------------|-----------------------------|---------------------------|-------------------------------|--|
| <p>クラスがまとまる</p> <p>五色百人一首</p> | <p>社会技能習得</p> <p>ソーシャルスキルかるた</p> | <p>逆上り上達</p> <p>くるりんベルト</p> | <p>直写に最適</p> <p>直写ノート</p> | <p>教室熱中!</p> <p>ペーパーチャレラン</p> | <p>重要語句に なじませる</p> <p>卑弥呼 フラッシュカード</p> |
|-------------------------------|----------------------------------|-----------------------------|---------------------------|-------------------------------|--|